

2015年2月10日
川崎市
JFE エンジニアリング株式会社

日本初の廃棄物発電を活用した 「エネルギー循環型ごみ収集システムの実証試験」の検討 ～災害時には非常用電源としても活用～

川崎市（川崎市長：福田紀彦）と JFE エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：狩野久宣、本社：東京都千代田区、以下「JFE エンジ」）は、このたび、廃棄物発電を活用した「エネルギー循環型ごみ収集システムの実証試験」の検討に関する覚書を締結しました。

「エネルギー循環型ごみ収集システム」の実証試験に向けて

ごみ焼却処理施設で発電した電力を活用し、「電池充電・備蓄・交換システム」を利用した電気自動車システムを搭載する EV ごみ収集車による日本初の「ごみ収集システムの実証試験」に向けて検討を開始します。

【システムのポイント】

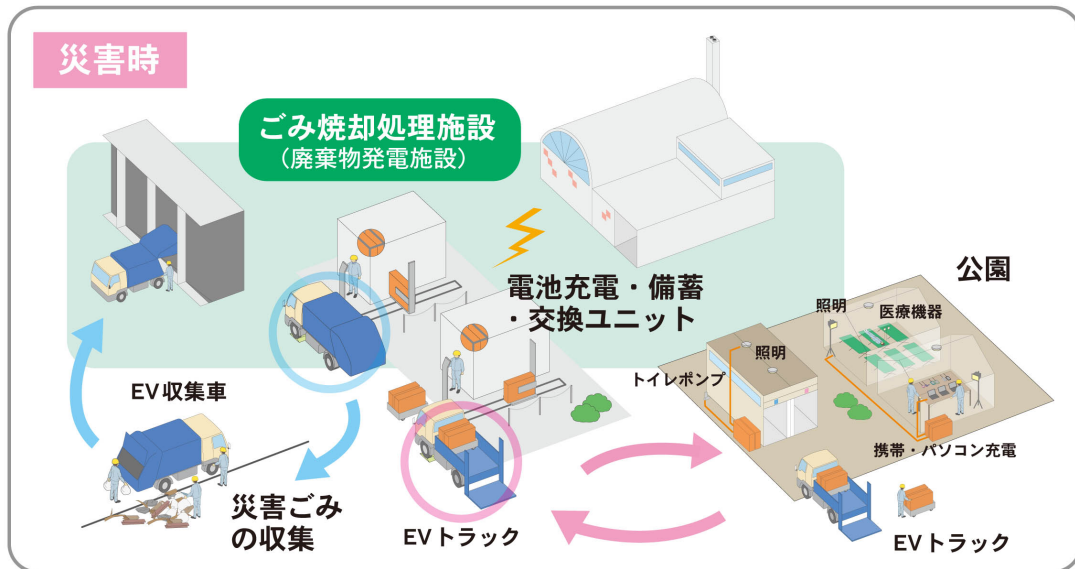
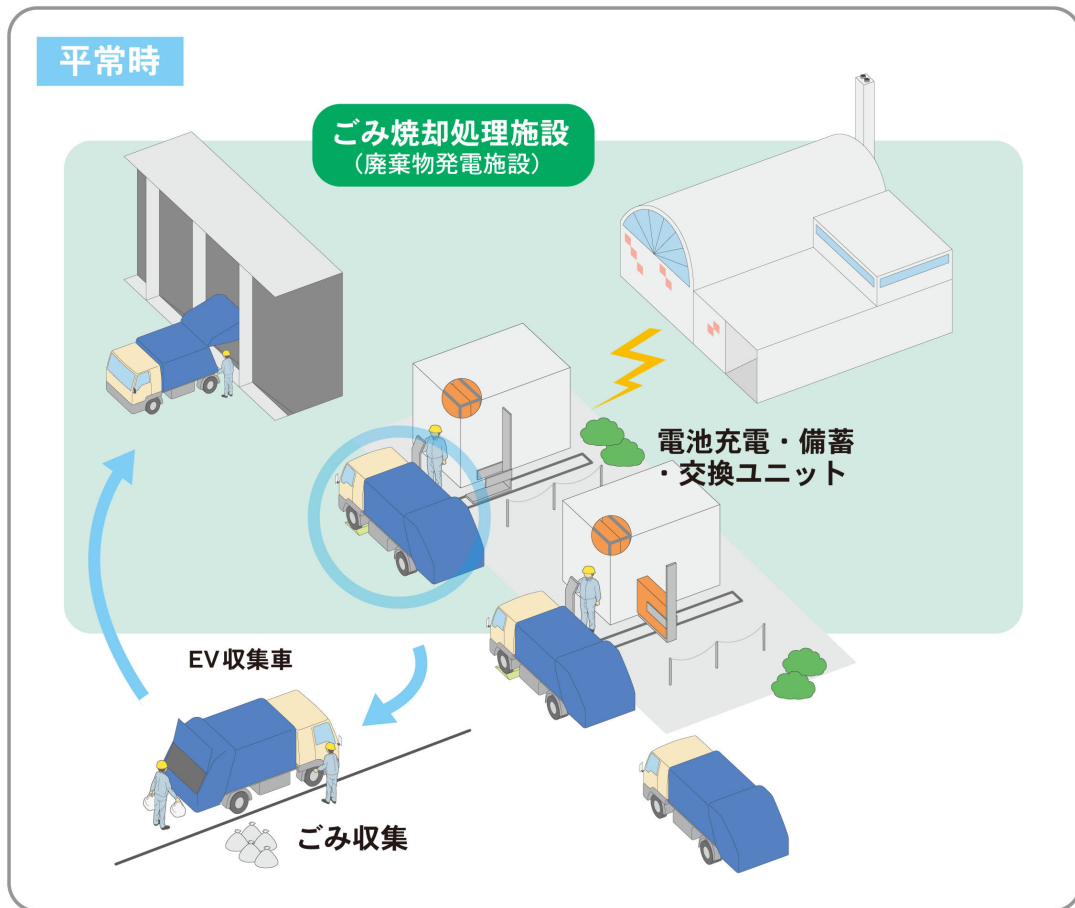
- ・ 廃棄物発電を活用したエネルギー循環型の地球環境にやさしいシステム
化石燃料を使わず走行中の排出ガスがゼロ、オール電動化による静音な運行
- ・ 電池充電・備蓄・交換システムの導入
電池を何時でも充電、複数電池の備蓄、スピーディに交換ができ、ごみ収集が可能
- ・ 災害時の非常用電源としても期待
EV ごみ収集車用の交換式電池を、自治体の災害対策拠点などの非常用電源としても活用

川崎市はごみ焼却処理施設などの実証試験のフィールドを各社に提供し、JFE エンジはプロジェクトを総括するとともに、電池充電・備蓄・交換システムの開発を担当する予定です。

また収集車両等については、日産自動車株式会社（本社：横浜市西区）、極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市）および日産グループ企業の株式会社オートワークス京都（本社：京都府宇治市）、オートモーティブエナジーサプライ株式会社（本社：神奈川県座間市）と連携しながら進めていく予定で、平成 27 年度中の実証試験の実施を目指します。

今後も川崎市ならびに各社は、最先端の技術を用いて地球環境保全に貢献してまいります。

【エネルギー循環型ごみ収集システムのイメージ】



JFEエンジニアリング・・・プロジェクトの総括と電池充電・備蓄・交換システム
日産自動車・・・100%電気トラック「e-NT400テストトラック」を活用した収集車のベース車両
極東開発工業・・・収集車の架装部

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当
JFE エンジニアリング株式会社 総務部広報室